



安芸太田町議会

第75号

発行／令和6年10月30日

もいみんだより



もいみん太田川産直市でお買い物！

発行／安芸太田町議会

編集／安芸太田町議会広報・広聴調査特別委員会

〒731-3810 広島県山県郡安芸太田町大字戸河内784番地1 ☎0826-28-1965

8月臨時会・9月定例会で決まったこと!

9月定例会を終えて



安芸太田町議会議長

中 本 正 廣

今期定例議会は9月6日に開会し、9月9日、10日の2日間が9名の議員による一般質問、議案の審議では「条例改正」「道の駅再整備事業契約の締結」「令和5年度会計決算の認定」、そのほか「令和6年度会計の補正予算」など、11議案を審議いたしました。

なお、各議案については、すべて原案のとおり可決されました。

また、そのほか議会改革調査特別委員会提出議案として、議員定数を1名減員し、定数11名とする、安芸太田町議会議員定数条例の一部改正案が上程され、賛成多数により、原案のとおり可決されました。

また、9月28日に安芸太田町「合併20周年記念式典」が開催されました。20周年という節目を迎え、町民の皆様が将来にわたって「住み続けたい」「住んでよかった」と実感できるまちづくりを推進し、また、多くの方が「訪れてみたい」「働いてみたい」「暮らしてみたい」と思っていただけのような魅力あるまちづくりに誠心誠意、努力してまいる所存でございます。

来年3月の町議選から
定数11人に

議員定数1削減を
可決!!

提案理由（抜粋）

安芸太田町議会の議員定数については、合併後の平成17年4月、18人でスタートし、その後の議会改革の取り組みにより、町の人口減少と経費削減の観点から、平成21年4月から16人、平成24年4月には12人に削減し、その後3期12年間、12人の議員で議会運営を行ってきました。しかし、この間安芸太田町の人口は7千人から5千人に減少し、県内の類似町（合併五町）においても議員定数の削減が行われている状況です。

さらに、今年度6月に実施した、議員定数に関する「住民アンケート調査」においても、議員定数は削減すべきとの意見が、全体の68%と多数を占める結果となりました。

今回の議員定数の改正議案については、次の一般選挙から現行定数の12人から1人減の11人に削減しようとするものです。

令和6年 8月臨時議会

(令和6年8月2日)

議案番号	件 名	採 決
議案第52号	安芸太田町の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について	賛成多数
議案第53号	令和6年度安芸太田町一般会計補正予算（第3号） （フォークリフト購入の補正230万円 — 衛生対策室）	全会一致
	議会広報広聴調査特別委員会の委員定数の変更及び委員の選任について	//
	子ども子育て・若者支援対策特別委員会の設置及び委員の選任について	//

8月臨時会・9月定例会で決まったこと!

議案第52号

安芸太田町の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について

・議案内容

安野出張所の業務を郵便局に試験的に委託する実証実験を行うため、議会議決を求めるもの。

●実験期間

令和6年10月1日～令和7年1月15日までの3か月間

・議案質疑

問 実験が終わった場合どうするか。

答 実証実験の期限は令和7年1月15日としており、その後直ちに郵便局への事務委託は考えていません。また直ちに、安野出張所を閉鎖するということは考えていません。

問 現在の職員の取り扱いについて、答弁を求める。

答 引き続き雇用し、現場の業務支援等にあたります。

問 今回の実験が将来的に加計・筒賀支所の廃止に繋がる可能性はないか。

答 現在のところ、支所の廃止は考えていません。

賛否の分かれた議案の表決結果について

議 員 名 議案番号等	角 田 伸 一	斉 藤 マ ユ ミ	佐 々 木 道 則	小 島 俊 二	末 田 健 治	大 江 厚 子	影 井 伊 久 美	田 島 清	大 江 昭 典	津 田 宏	佐 々 木 美 知 夫	中 本 正 廣
議案第52号 安芸太田町の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	—

【○賛成 ●反対】 ※議長は賛否に関わることができません。ただし、賛否同数の場合は、議案の可決・否決を決めることができる「採決権」が認められています。

令和6年 9月定例議会

(令和6年9月6日～19日)

議案番号	件 名	採 決
報告第4号	健全化判断比率の報告について	—
報告第5号	資金不足比率の報告について	—
同意第4号	教育委員会委員の任命について	全会一致
議案第54号	広島県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	賛成多数
議案第55号	安芸太田町国民健康保険条例の一部改正について	//
議案第56号	安芸太田町附属機関の設置に関する条例等の一部改正について	全会一致
議案第57号	事業契約の締結について（道の駅「来夢とごうち」再整備事業）	//
議案第58号	令和6年度安芸太田町一般会計補正予算（第4号）	//
議案第59号	令和6年度安芸太田町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	//
議案第60号	令和6年度安芸太田町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	//
議案第61号	令和6年度安芸太田町病院事業会計補正予算（第1号）	//

9月定例会で決まったこと!

議案番号	件 名	採 決
認定第1号	令和5年度歳入歳出決算の認定について	全会一致
認定第2号	令和5年度安芸太田町病院事業会計決算の認定について	//
発委第3号	安芸太田町議会議員定数条例の一部改正について	賛成多数
陳情第16号	加計体育館の照明度確認を求める陳情書	全会一致
	選挙管理委員の選挙	
	選挙管理委員補充員の選挙	

賛否の分かれた議案の表決結果について

議 案 番 号 等	角 田 伸 一	斉 藤 マ ユ ミ	佐 々 木 道 則	小 島 俊 二	末 田 健 治	大 江 厚 子	影 井 伊 久 美	田 島 清	大 江 昭 典	津 田 宏	佐 々 木 美 知 夫	中 本 正 廣
議案第54号 広島県後期高齢者医療広域連合規約の 変更について	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	—
議案第55号 安芸太田町国民健康保険条例の一部改 正について	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	—
発委第3号 安芸太田町議会議員定数条例の一部改 正について	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	—

【○賛成 ●反対】 ※議長は賛否に関わることができません。ただし、賛否同数の場合は、議案の可決・否決を決めることができる「採決権」が認められています。

一般会計補正予算(第4号)

一般会計・歳入歳出

歳入歳出に197,786千円を増額し、歳入歳出予算総額を8,999,588千円に増額
(可決)

歳入の主なもの

・国庫補助金(物価高騰交付金)3,420千円・
コロナワクチン接種補助金16,550千円・
児童手当負担金12,445千円・その他22
1千円)
・県補助金
起債等
14,901千円
4,940千円

歳出の主なもの

・価格高騰対策事業
コロナワクチン対応
社会・生活基盤等整備事業
その他(前年度補助金返還金等)
120,219千円
60,077千円
14,070千円
3,420千円

議案第57号

事業契約の締結について

事業名

安芸太田町道の駅「来夢とごうち」再整備事業
契約金額
2,150,000千円
契約相手
株式会社グレートステーションあきおた

代表取締役 橋本 稔広

9月定例会で決まったこと!

令和5年度各会計の決算状況 決算審査

—前年度比1.9%の増加（一般会計決算額）—

一般会計歳出 **総額 83億3,261万円**

(単位：千円)

会 計 名		決 算 額			
		歳 入	歳 出	翌年度繰越額	実質収支額
一 般 会 計		8,554,303	8,332,606	60,717	160,980
国民健康保険事業特別会計		809,166	804,913	0	4,253
後期高齢者医療事業特別会計		166,454	159,461	0	6,993
介護保険事業特別会計		1,347,916	1,320,727	0	27,219
介護サービス事業特別会計		14,732	14,732	0	0
公共下水道事業特別会計		302,809	246,284	0	56,529
簡易水道事業特別会計		242,135	153,155	0	88,980
農業集落排水事業特別会計		140,886	108,902	0	31,984
特定環境保全公共下水道事業特別会計		302,809	246,284	0	56,525
筒賀財産区特別会計		2,835	2,835	0	0
内黒山財産区特別会計		8,454	8,454	0	0
合 計		11,589,700	11,152,049	60,717	376,934
病院事業会計	収益的収支	2,005,238	2,022,257	—	▲17,019
	資本的収支	115,840	199,196	—	▲83,356

●安芸太田町財政各種指標

項 目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経 常 収 支 比 率	93.5%	86.8%	97.8%	97.9%
実 質 公 債 費 比 率	12.4%	12.3%	12.1%	12.6%
地 方 交 付 税 額	44億5,200万円	43億3,694万円	42億2,073万円	43億1,433万円
	普通交付税	39億5,219万円	37億848万円	37億3,768万円
	特別交付税	4億9,981万円	5億1,397万円	5億7,665万円
財政調整基金(貯金残高)	23億9,900万円	28億4,600万円	30億2,800万円	31億7,600万円

●安芸太田町基金一覧表

区分	基 金 名	令和5年度	令和6年度	説 明
		年度末現在高	年度末現在高見込	
一 般 会 計	財 政 調 整 基 金	31億7,616万9千円	29億7,774万1千円	自治体における年度間の財源の不均衡を調整するための積立金です。財源に余裕のある年度に積み立てを行い、大規模災害の発生や大幅な税収減などがある年度に取り崩しを行います
	減 債 基 金	3億7,918万4千円	3億7,947万2千円	町債の償還財源を確保し、財政の健全な運営に資するための資金を積み立てることを目的に設置された基金
	地 域 振 興 基 金	3億1,574万円	3億1,617万9千円	旧可部線の沿線地域振興のため、JR協力を財源とした基金
	ま ち づ くり 基 金	8億9,744万6千円	8億7,751万1千円	合併特例債を財源とした基金
	過疎地域持続的発展事業基金	1億5,888万7千円	1億4,799万9千円	過疎債のソフト事業分を財源とした基金
	ふるさと未来・夢基金	2億2,774万6千円	2億7,845万6千円	ふるさと納税を財源とした基金
	森 林 環 境 譲 与 税 基 金	5,705万4千円	4,666万3千円	森林環境譲与税を財源とした基金
	そ の 他 基 金	6,031万6千円	6,036万5千円	福祉医療教育支援奨学基金、温井ダム周辺町有施設整備基金、森づくり事業基金
一般会計合計		52億7,253万9千円	50億8,438万6千円	

決算審査特別委員会審査報告

**物価高騰対応等が3割に及ぶ
(国庫支出金のうち)**



決算審査特別委員会委員長
津田 宏

病院は入院収益減少が見られる

令和6年第5回安芸太田町議会定例会において、当委員会に付託された、認定第1号、令和5年度安芸太田町歳入歳出決算の認定について及び、認定第2号、令和5年度安芸太田町病院事業会計決算の認定についての2件の審査結果を会議規則第77条の規定により次の通り報告します。

審査委員会は議長、監査委員を除く10名で構成され、9月12日から9月17日までの6日間にわたり慎重に審査いたしました。審議にあたって、監査委員の意見に基づき、「効率性」「効果的」「適正性」を主眼に置き、基礎資料及び、関係諸帳簿、証拠書類を照合精査するとともに、関係資料の提出を求め、関係職員の説明を聴取し、審査を行った。執行部の出席は町長をはじめ教育長、病院事業管理者、所管課長等を説明員として出席を求め、議案の概要説明を受けた後、質疑、細部審査を行いました。

令和5年度における国内の経済状況では、情勢の悪化に伴う物価高騰により、コロナ禍後の経済が正常化したとは言い切れない状況であった。本町の財政状況では、前年度に引き続き、財政調整基金の補填を伴わない決算収支であった。決算数値における財政指標は、基金の積み増しと起債償還の進展により将来負担比率が9.5%から1.1%と改善しているものの、実質公債費比率は、12.1%から12.6%に悪化、経常収支比率は、97.8%から97.9%と横ばいで推移しており、依然として財源的余裕や財政構造の弾力性が希薄な状況が続いている状況であった。実質収支では、1億6千98万円となり、前年度の2億9,307万6千円に比べれば1億3,209万6千円減少したものの、黒字であった。財政調整基金への積立状況では、前年度比18.2%減少、金額にして3,307万9千円減少していたが、総額で1億4,842万1千円を積立て、取崩しによる補填を伴わない決算であった。結果として、実質単年度収支は1,632万5千円となったものの、前年度1億1,541万5千円に比べて、9,909万円減少していた。

決算には、新型コロナウイルス感染症対応事業や物価高騰対応事業が挙げられるが、国庫支出金のうち、新型コロナウイルス、物価高騰関係の経費は全体の3割であった。この用途として主要なものは、物価高騰に伴う非課税世帯への給付金などの各種支援事業として1億3,076万8千円のほか、地域経済の活性化と生活支援としての地域通貨もりかプレミアムキャンペーン事業として2,152万1千円、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保として1,874万5千円があった。

【安芸太田病院事業会計】

病院事業会計の決算は、収益合計20億523万9千円に対し、費用のほうで20億2,225万7千円で、1,701万8千円の赤字決算であった。収益的収支の状況としては、医業収益では病棟内でのクラスター発生と介護医療院転換工事に伴う入院収益の減少と一般会計負担金の見直し等により、前年度比で2,836万1千円減少していた。医業外収益では補助金等の増額により、2,935万1千円の増加していた。支出の医業費用では、給与費及び減価償却費の増加により、前年比で2,495万2千円増加していた。医業外費用では建設改良の規模が減少したこともあり、対前年比で348万4千円減少していた。

当期は前年より、1,239万4千円の損失が増加し、1,701万8千円の純損失となっていた。

決算審査監査委員からの意見（抜粋）

移住者増対策に成果！！

「第二次長期総合計画後期基本計画」及び「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」で進めてきた取り組みのうち、人口増対策として「戦略的重点プログラム」を集中的に推し進める取り組みをされ、移住者増対策では成果が表れてきている。引続き、定住対策に取り組まれない。

また、財政状況は、財政調整基金の補填を伴わない決算収支であり、決算数値における財政指標は、基金の積み増しと起債償還の進展により将来負担比率が9.5%から1.1%に改善していた。しかし、実質公債費比率は、12.1%から12.6%に悪化、経常収支比率では97.8%から97.9%とほぼ横ばいで推移し、依然として財源的余裕や財政構造に弾力がない状況であるため、これから本格化する道の駅周辺再整備事業、加計スマートインターのフル化や定住促進賃貸住宅整備事業等といった大型事業への投資など、財政調整基金に頼らざるを得ない状況が予想される。中期財政運営方針に沿って、事業の選択と集中を高めながら財政運営に努められたい。



代表監査委員
齋藤 和典



議会選出監査委員
佐々木道則

病院事業会計は、今後も収益増加に向け、管理職による経営改善会議の継続、また病院職員が一体となり、安芸太田町病院事業中長期計画「公立病院経営強化プラン」による5つの経営方策の具体的な取り組みを着実に実施し、K P I（重要業績指標）・K G I（重要成果指標）による成果・指標の検証を行い、安芸太田町病院事業の経営健全化に向けて引き続き取り組まれない。

以下、従前からの決算指摘も踏まえ、特記として付記する。

1. 翌年度繰越額について
2. ふるさと納税の推進について
3. 加計高校の支援について
4. P F I 事業の推進について
5. D X 推進について（デジタル・トランスフォーメーション）
 - 福祉分野におけるD X 推進
 - 教育分野におけるD X 推進
6. 働き方改革の推進について
7. 公用車の取り扱いについて
8. 口座振替データ伝送の見直しによる経費削減について



加計体育館の現状確認



旧JR滝山川桥梁撤去状況を確認

一般質問 町の未来（アシタ）を問う！

一般質問とは 議員が町民の代表として、町の行政全般に対し、現在の状況や将来の方針等を質問することで、政策の見直しや提言等を行います。

◆質問時間は、1人1時間以内（答弁含む）です。

9月定例会では、9月9日、10日の2日間で9人の議員が一般質問を行いました。

町政課題で活発な論戦を展開！

ページ	質問議員	質問項目
9	角 田 伸 一 【一問一答】	■生活環境について ■有害鳥獣について ■防災について
10	小 島 俊 二 【一問一答】	■行政運営の諸課題について ・消防屯所の格差是正について ■教育大綱策定後の「教育振興計画」について ■公共施設等総合管理計画について ・加計体育館のリニューアル(照明、トイレ洋式化等)
11	佐々木 美知夫 【一問一答】	■減少が続く少子化対策について (第3期子ども・子育て支援事業計画)
12	影 井 伊久美 【一問一答】	■町道の維持管理について ■特産品・お土産の商品開発について
13	斉 藤 マユミ 【一問一答】	■指定管理施設について ■町有施設の倒木調査について ■大規模林道舗装工事の進捗状況について
14	大 江 厚 子 【一問一答】	■本町の戦争・核兵器廃絶の取り組みについて ■岩国米軍基地に関する問題について ■介護職員不足の現状と確保・育成について
15	田 島 清 【一問一答】	■明るい選挙について ■公共施設等のトイレ整備について ■合併20周年記念事業について
16	大 江 昭 典 【一問一答】	■組織力（行政力）について ■教育振興について ■太田川清流構想について
17	津 田 宏 【一問一答】	■安芸太田町DX推進計画について ■加計高校の持続と発展について

(注) 答弁の概要を、次ページ以降に、掲載しています。





角田 伸一 議員

問 過疎地域の集落対策は



こちらのQRコード
から中継映像もご覧
いただけます。

答

県と連携して広域自治体 として取り組む

問

安芸太田町が、広島県集落対策に関する検討会議に協力したいきさつについて、また安芸太田町から何に協力をしたか。

答

町長

県内でも今後の人口減少率が50%以上と想定される市町のうち、上位2町（安芸太田町、神石高原町）について、県において調査を行うための協力要請があったものです。

町としても、この取り組みは、今後の中山間地域の暮らしを守るうえで大変重要な調査と受け止め、依頼を引き受けました。

町内全ての住民組織を対象とした聞き取り調査のほか、関係機関への聞き取り調査について協力しました。



問

これから集落対策を推進するにあたり、県と町はどのような関係性をもって取り組むことになるのか。

答

住民課長

集落対策を進めていくうえで、まずは地域住民に最も近い町が主体となり、課題解決に向けて地域や集落と共に取り組む必要があると考えています。

その上で、県には、単独の市町では対応が困難な課題について、市町の協力も得ながら、広域自治体として解決に向けた支援・調整を行っていただくことが求められると考えております。

里山について

問

里山の適正な維持管理といふことについて、思いを問う。

答

町長

里山は町民が頻繁に里山に出入りする機会があったからこそ維持されていたわけで、現代のように里山に入る機会がなくなってしまうと荒廃も進んでしまいます。

イノシシやクマなどの出没抑制としての緩衝帯や、土砂崩れなどの山地災害防止のためにも里山の整備は必要です。

問

災害が予想されるとき、また災害が発生したとき、住民が頼りにするのは、行政職員の行動力である。

有事の時に備えた、行政職員の訓練の状況について問う。

答

町長

万が一災害が発生した場合、町民の皆様が頼りにされるのは行政であり、その思いから、私が就任後最初に取り組んだのは危機管理室の設置でした。

昭和63年7月豪雨災害を参考に「訓練」を実施しました。参加職員は被災直後の初動対応が必要な住民課、災害廃棄物処理を担当する衛生対策室、被災者対応を行う健康福祉課、両支所のみに残っており、今後は、組織的な対応の強化に向けて、参加職員を広げていく必要があると考えています。

問 地元屯所の維持・管理への支援拡大について



小島 俊二 議員



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。

答 充実していく必要はあるので、検討する

加計放課後児童クラブについて

問

加計放課後児童クラブは、旧加計保育所で実施しているが、登録人数が50人近く在籍しており、プレハブ校舎が手狭で、勉強体制にも支障がでる状況である。

加計放課後児童クラブを加計小学校で実施することはできないかを問う。また、加計小学校の放課後における校庭開放について問う。

答

教育次長

現在、学校の教室の放課後利用については、戸河内小学校の放課後こども教室を除いて、ありません。加計放課後児童クラブについては、今現在、人数が多くなっていますが、場所を移したり、2拠点にするなどを考えると、指導者の配置に課題があります。

今後において施設をどうするかというのは、引き続き検討を続けていきたいと考えています。

校庭開放については、下校時刻後は、放課後児童クラブ、こども教室利用者以外は、速やかに自宅

公共施設総合管理計画について

問

集会施設や観光施設、スポーツ・レクリエーション施設について、譲渡や解体など具体的な計画を出す予定はあるか問う。

答

総務課課長補佐

集会施設につきましては、各施設の老朽化や利用状況、維持コストを踏まえた上で、最適な規模、設置数を検討し、地元とも協議しながら、地域への譲渡を含めて検討したいと考えています。

問

加計体育館の各種施設の老朽化についてどう考えているか問う。

答

教育課長

加計体育館は、昭和62年竣工後、築37年経過しております。経年劣化により、これまでアリーナ照明の一部修繕を行うなど、応急措置程度の修繕による維持管理を行っているところですが、今後、利用者の要望や意見を施設管理に反映させ、利用者にとって快適な施設として、管理運営を行っていききたいと考えており、施設の長寿命化を踏まえた計画的な改修を行うよう検討していききたいと考えています。



加計体育館（屋内）



加計放課後児童クラブ

みなさん是非 傍聴にいらして下さい!!



佐々木美知夫 議員

問

減少が続く少子化対策を問う



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。

答

アンケート調査結果を今後の子ども子育て支援事業計画に反映させていきたい

問

町内では、人口減少が進み、特に近年出生者数が10人程度で推移している。今後も、年間出生者数約10人未満で子どもの人口が減少していくと思われる。令和6年2月、子育て世帯に対し、幼児教育、保育事業の利用希望、子育て支援についてのニーズ調査を実施しているが、調査結果を捉えた取り組み姿勢を問う。

答

教育次長

アンケート調査につきまして、配布数238件で、有効回答数151件と、6割近い回収率で本事業に対する子育て世帯の関心の高さを感じています。調査の結果を、今後の子ども子育て支援事業計画に反映させていただきますと考えています。

問

子育て世代の定住が増加しない町の課題や問題は何か。

答

教育次長

基本的には、居住の問題でありますとか、仕事の問題をはじめとした様々な過疎地域特有の課題が

問

調査結果の中で、保育料や給食費の無償化、特に多かった病院の小児科の設置の今後の対応、また遊び場の確保（小中学校グラウンドの開放）について、見解を問う。

答

教育次長

保育料の無償化は、第2子以降、県内どこよりも先駆けて行っています。給食費については、他市町や国の状況を見ながら、引き続き検討していきたいと考えています。また、学校のグラウンドは、学校の教育施設です。利用するには学校開放等の規則があり、各団体が申請のもと施設の許可を得て利用しています。自由に利用できるようにとのご意見でのご質問だと思いますが、今後検討を続けてまいります。

病院事業管理者

小児科医療については、前副町長が進めていただいた電話相談があると思います。

専門医を配置することは無理ですが、現状では内科の先生が対応

できる3歳以降、何とか対応していきたいと考えています。

問

婚活サポート事業の現状を問う。

答

企画課長

令和5年度は、町外から20名近くの女性参加希望がありました。男性からの応募が少なく、6対6の開催になり、3組のカップルが誕生しました。今年度も交流会を実施します。



加計小学校



筒賀児童センター

問

商品開発を促進するための
支援制度を設けるべきでは



影井伊久美 議員



こちらのQRコード
から中継映像もご覧
いただけます。

答

こういったものが相応しい
か考えていきたい



町道の損傷

地域インフラ群再生戦略マネジ
メントという、国の事業のモデル
地域に選定していただきました。
本町と北広島町と県も合同で国道、
県道も一体的に連携しながら管理
することで効率化を図る取り組み
を具体的に今年から始めます。
国や県と協議をしながらアプリ
等のDX活用を積極的に働きかけ
ていきたいと思っています。

答

町長

車道や歩道の舗装剥がれ・
ひび割れ・陥没、ガードレール
等の損傷、倒木や落石、動物の
死骸などを発見し、詳細な住所
がわからない場合や状況説明が
難しい場合でも、スマートフォ
ンで場所や写真を添付し簡単に
通報できるアプリやシステムを
導入する考えはないか。

町道維持管理について

問

特産品・お土産品の商
品開発について

道の駅の持続可能な運営強
化のためには1人でも多くの住
民や事業者の参画が必要である。
1次産業のみならず2次・3次
・6次産業化する事業者に対し
ての支援として、地域資源を活
かした新たな商品開発や、既存
の商品を改良する経費の一部を
補助する制度を設ける考えはな
いか。

答

町長

新しい事業の取り組みについて
は「がんばるビジネス応援補助金」
を活用していただきたい。しかし
事業の延長線上で商品開発をした
点については、残念ながら該当
するようないかなる支援策がないので、宿
題として考えていきたいと思いま
す。また、商品開発の思いがある
方と地域商社とが、しっかり連携
させていただければと思います。



おみやげ品

答

町長

多様な事業者と地域商社が
話し合える場の延長線上に補助
金制度の選択肢があつて、いわ
ゆるバラマキでは終わらない、
お互いに協力しながら商品開発
ができる環境づくりをすべきで
はないか。



おみやげ品

おおむね3か月程度の実証実験
を地域商社の中では部会制度で様
々な分野の事業者に参加いただき、
意見交換する場を作っているが、
年に1、2回しか開催できてお
らず結果として中身が伴う活動ま
でいていません。
地域商社との連携の中で事業と
して生まれていくような取り組み
を進めていきたいと思っています。



斉藤マユミ 議員

問

いこいの村ひろしま・グリーン
スパつつが今後の方向性は



こちらのQRコード
から中継映像もご覧
いただけます。

答

施設売却のための公募を
展開している

問

いこいの村ひろしま
売却に向けての進捗状況

以前の答弁で、町内において多くの団体客を受入れ可能な大変重要な施設と位置づけられた。

保有施設の整理合理化の観点、今後の老朽化対策費用の増大の観点、さらには民間のノウハウ活用による施設の有効活用の可能性の観点、いずれの観点からも、従来どおり当該施設は、民間譲渡すべきの判断が示された。指定管理期間が1年と半年、売却に向けての現在の進捗状況について問う。

答

産業観光課長

観光事業も回復傾向にあることから、この8月末より、建物の売却及び土地の貸付けの公募を開始しました。事業者の選定にあたっては、施設運営の意欲や経営能力などに最もすぐれた応募者を優先交渉権者として決定するプロポーザル方式を採用しています。募集要項を町ホームページで公表するなど、透明性を確保しながら手続を進めてまいります。

問

グリーンスパつつがの今後
についてを問う。

答

産業観光課長

平成18年度より、管理は指定管理者制度を導入し、現在も民間事業者が運営を行っております。開設後28年が経過し、施設の老朽化による修繕費の増加が目立ち始めてきているのが現状です。

この施設は宿泊事業を中心として、周辺地域の観光振興や産業振興などに寄与していることから、町としても必要な施設と考えており、より効率的かつ効果的な運営となるよう、将来的には本施設についても売却を前提に検討したいと考えています。今後方針が固まれば、スケジュールなどお示しいたいと思います。



大規模林道（舗装前）

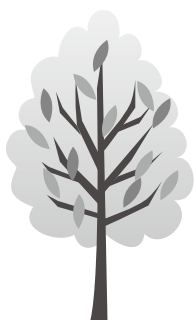
問

大規模林道舗装工事の進捗
状況について。

答

産業観光課長

大規模林道については国や県の支援がないこともあって、町のほうで管理をしなければなりません。今年度、しっかり予算を付けて対策しています。設計もやっております。これで全部が舗装できるかどうか苦慮しています。不十分であればまた来年度に向けて取り組みを加速してまいります。



大規模林道（着々と舗装が進みます）

問 核廃絶の取り組みの町長の考えは



大江 厚子 議員



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。

答 平和構築の土台となる信頼を醸成

大江厚子 議員
旧上殿村が造営した戦争や原爆で亡くなった方84基の共同墓地は、戦争の記録を刻むものだ。上殿遺族会が大切に維持管理されており、戦争は起こしてはいけないという核心となるものだ。



上殿共同墓地

答 教育長
道徳科や社会科等での指導や夏季休業中に平和学習を実施しました。被爆の惨劇の継承、子ども達自身何ができるか学習していく必要があると思います。

問 町長
核廃絶の言葉がなくても、平和構築の土台となる信頼の醸成が大きいと思います。

問
戦没者追悼平和祈念式典の町長式辞で、核兵器廃絶の政府への要請が昨年今年はない。町長が訴えることがトップの任務ではないか。

答 副町長
検討します。

問
本町を含む近隣市町の国への要請文を、町ホームページに掲載すべきではないか。

答 副町長
防衛は国の専管事項ですが、国民の安全安心に関わる問題であり、実効性ある対応を近隣自治体と連携し要請していきます。

問
岩国米軍基地に、最新鋭のオスプレイや戦闘機が配備された。どう考えるか。

答 副町長
町民の生活に不安が生じている状況は容認できるものではなく、県や関係市町と連携して国等に対応を求めています。

問
7月8日午後8時前後、戸河内の上空で、基準を超える16回の騒音が聞かれた。安全で静かであるべき空が米軍用機の戦争の訓練場にされている。認識は。

米軍用機の訓練について

答 健康福祉課長
住居確保の検討をしてきましたが実績は上がっていません。話し合いを続けそのような事ができればと考えています。

問
町外からの雇用を考え、町が寮のような施設を建設する考えはないか。

答 健康福祉課長
多くのスキルが求められるものの給与や待遇はまだ改善の余地があり、離職率も高い傾向にあると考えています。

問
原因は何か。

答 健康福祉課長
介護事業者・障害福祉事業者・病院全てで不足しており切実な問題です。

問
全国的に介護職員不足だが、本町の現状はどうか。

介護職員不足について



みなさん是非 傍聴にいらして下さい!!



田島 清 議員

問 明るい選挙について



こちらのQRコード
から中継映像もご覧
いただけます。

答 誇りを持って前に進みたい

問

大規模買収事件のことについては本町も無縁ではない。有権者の皆さんの驚きと心配の声は続いている。もう選挙には行かないなど、落胆の声も聞かれ、政治離れが懸念される。投票率向上のための施策はあるか。投票率のナンバーワンを目指す考えは。

答

総務課長

政治家による汚職に関して、非常に大きな打撃を受けるところで。議員ご指摘の失望感でありますとか、選挙の投票率が減少するという話もありますが、まずもって安芸太田町で誇りを持って仕事をするとといった面から非常に残念でなりません。

投票率向上については、広報誌による啓発、また防災無線による情報発信、近年では、主権教育の一環として、加計高生による投票率向上の取り組みと連携して行っているところで、他の自治体に劣るところはないというふうに自負をしているところです。

また、町議会による住民懇談会の開催など、住民の皆様と議員が直接対話をされ、政治に関心を持

っていただけなきっかけづくりを担ったものと考えておりますし、議会広報委員会、また議会改革特別委員会の取り組みに関して非常に注視しています。

合併20周年記念について

問

前町長は10周年挨拶で、これからの10年も町民が主役で、町民が活躍する協働のまちづく

答

町長

長年続く過疎にいかに関わり向かっていくかということ積み重ねてこられた20年ではなかったかなと思っております。

私は、合併20年のうちの後半の4～5年を担う状況でした。都市と自然が近接した質の高い暮らし、教育環境の充実という観点から「ほかの市町にはない好条件に恵まれている」というふうに感じております。

ほかの町から見ても、まねをしたくなるような、模範となるようなそういうまちづくりを進めていきたいと考えています。



合併20周年記念式典

問 筒賀川の異臭・汚濁について問う



大江 昭典 議員



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。

答 引き続き追跡・調査を行う

太田川清流構想について

問 現在の施策の進捗状況及び課題、今後の展望はどうか。

答 産業観光課長

これまで、太田川河川事務所との意見交換会を本町で実施し、住民が参加するクリーン太田川の際も、川岸までたどり着くことのできない状況を説明し、除草などの実施を要望したところです。

太田川の清流復活につきまして、まず、河川の状態についての現状把握が必須であると考えており、河川の状態を調査する中で、過去に失われた自然を取り戻すことができるか、また生態系の健全性を回復することができるかどうかは、新年度予算に向けた取り組みとして議論していきたいと考えているところです。



住民が参加するクリーン太田川

問 太田川清流構想と現存する観光資源との結びつきについての考えを問う。

答 町長

今年の夏も、多くの皆さんに来ていただき、安芸太田町の美しい自然を多種楽しんでいたと感じています。この太田川の清流の度合いが、もっときれいになれば、当然観光にもプラスに働いていくと思っていますので、水質調査等を含め、まずは現状把握からの取り組みを進めていきたいと考えております。

問 太田川の清流をつかさどる筒賀川の増水時の異常汚濁と異臭は、環境や地元住民にとって大変大きな懸念材料であり、今後の行方を大変危惧しているが、町長はこの案件をどう捉えているか。

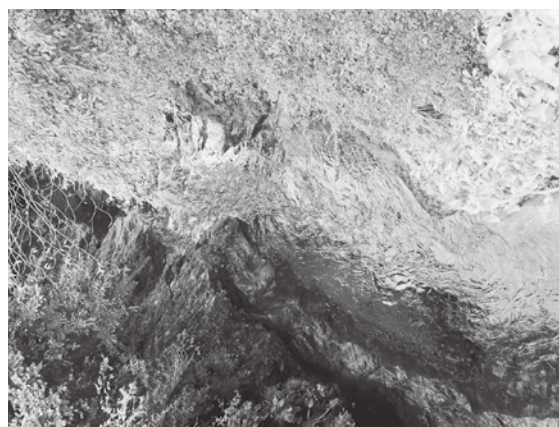
答 町長

筒賀川上流域における黒い水、あるいは異臭について、大雨時に現地で事実確認し、私ども把握をしているところです。

この問題については、引き続き追跡、調査、把握をしながら、こういった事態が起らないようにしっかりと関係部局（国交省・県）の方に、お願いをしていきます。



筒賀川



筒賀川



津田 宏 議員

問 DX推進計画の今後の取り組みは



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。

答 分野を横断した活用を進める

安芸太田町DX推進計画について

問

安芸太田町の「安芸太田町DX推進計画」において、これまでの実績と今後の取り組みについて問う。

答

企画課長

安芸太田町では、32の手続きがオンライン申請可能となり、行政情報システムの標準化に向けた移行計画も進めています。また、地域通貨「もりか」と生活Maasを中心に住民の利便性を高めるサービスを提供しており、生活Maasでは「あなたく」と「定額タクシー」を統合した新公共交通システム「もり力」の運用も開始しました。

さらに、災害時の支援として、スマホアプリ「防災もりみん」を導入しています。ペーパレス化も推進中です。さらに、「DX共通基盤」を構築し、分野を横断してデータの活用を進めています。



役場本庁設置の
もり力現金チャージ機

問

政府は従来の保険証を廃止し、保険証機能をマイナンバーカードに紐付けたマイナ保険証に一本化する方針を決定しましたが、インターネットやスマートフォンでの操作に不慣れな高齢者や、身体的な制約や認知機能の低下がある方に対して、どのような対策を考えているのか問う。

答

住民課長

現行の健康保険証の発行は令和6年12月2日で終了し、マイナンバーカードでの保険証利用に移行します。この変更については、国民健康保険や後期高齢者医療の被保険者証更新時に案内し、町広報誌やホームページ、医療機関や薬局でも周知しています。高齢者や身体的な制約、認知機能の低下がある方には、本庁各支所の窓口での対面サポートや、必要に応じて登録職員が施設や自宅に向いて登録作業を支援します。また、暗証番号の設定が不要なカードも選択可能です。

まだマイナンバーカードを取得していない方や、保険証と紐付けていない方には「資格確認書」が交付され、これを医療機関に提示することで従来どおりの医療サービスを受けることができます。

加計高校の持続と発展について

問

黎明館は最大60名の生徒が居住できる寮を持つ。地元生の入学数にはばらつきがあり、将来的に地元生を確保するのが難しくなる一方、町外からの入学生を増やす必要があるが、寮の確保が課題である。

加計高校は県内で注目されており、人口減少を食い止めるためにも、加計高校の役割は重要である。安芸太田町の出生数は減少傾向にあり、将来的に町内の新入生が10人に満たない状況が予想される。黎明館に入寮できない生徒が発生するが、町は将来どのように対応していくのか問う。

答

副町長

現在、定住促進住宅の整備を町で進めています。新たに整備する住宅や、既設の住宅で空きがあるところを、加計高校の町外からの入学生受け入れに活用することができないか、これまでとは異なる新しい発想で検討していくことも重要であると思っています。

色々と規制もあるかと思いますが、何とか突破口を見いだしていけるよう検討を進めてまいりたいと思います。

アンケート回収率等

■対象者：2,500人 ■回答者：945人
■回収率：37.8%

特集

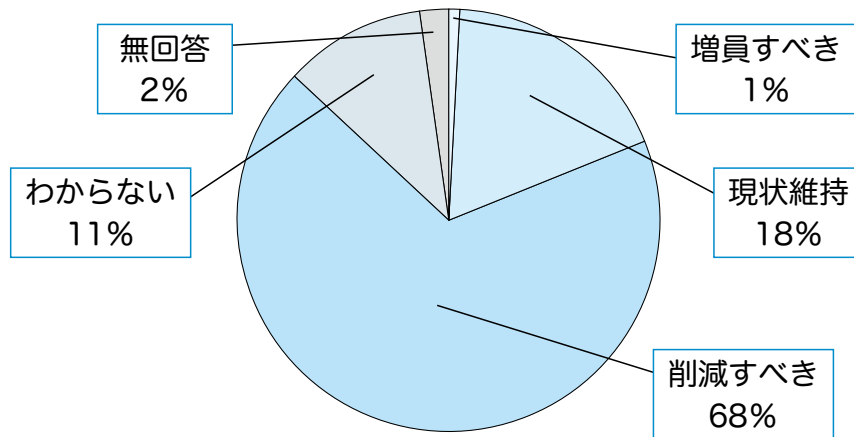
議員定数・報酬アンケート結果

安芸太田町議会では、議員定数・議員報酬について、住民の皆様のご意見を聴くためアンケート調査を実施しました。アンケート結果は、議員定数・報酬の検討に活用させていただきます。ご協力ありがとうございました。

定数に関する住民アンケート調査結果について

議員定数（現在12人）についてどう思いますか。

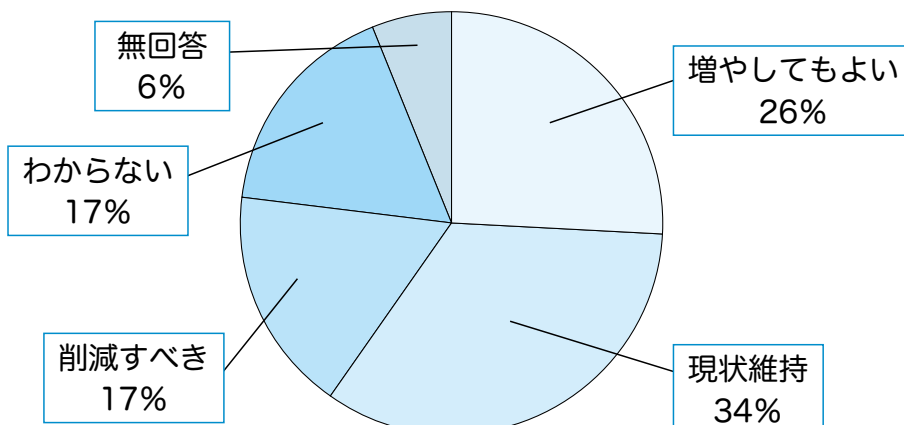
- ①増員すべき……………8
- ②現状維持がよい……………167
- ③削減すべき……………644
- ④わからない……………103
- ※無回答……………23



議員報酬に関する住民アンケート調査結果について

議員報酬（月額20万円）についてどう思いますか。

- ①増やしてもよい……………246
- ②現状維持がよい……………317
- ③削減すべき……………163
- ④わからない……………160
- ※無回答……………59



議会改革調査特別委員会

■議員定数・報酬に係る住民懇談会の開催

安芸太田町議会では、議員定数・報酬について、住民の皆様の見を聴くために町内3か所で住民懇談会を開催しました。

懇談会には、3会場で53人の参加があり、議会活動や議員定数・報酬について活発な意見が交わされました。

議会では、懇談会で出された住民の皆様の見解を議員定数・報酬の見直しの参考にさせていただき、懇談会での意見等については、議会ホームページに掲載しています。

・筒賀会場

7月13日（土）13人参加

・戸河内会場

7月21日（日）20人参加

・加計会場

7月27日（土）20人参加



加計会場での様子



戸河内会場での様子



筒賀会場での様子

議員定数・報酬について

議会改革特別委員会では安芸太田町の「議員定数・報酬」について、見直しを行うため、住民懇談会、アンケート調査を行いました。

議員定数については、定数を削減すべきとの意見が、約7割と大多数を占めました。

議員報酬については、現状維持が34%、増やすべきが26%と拮抗した結果となりました。議会では、これらの結果を参考に協議を重ね、議員定数については、9月定例会で、議員定数を現行の12人から1人減の11人とする条例改正案を賛成多数で可決しました。

報酬については、引き続き協議を継続し、今年中に結論を出す方針です。

議会改革調査特別委員会



こちらのQRコードから
アンケート結果をご覧
いただけます。

懇談会での意見（抜粋）

- 世羅町、北広島町は12人でやっているが、人口は3倍。向こうができてこちらができない理由がどこにあるのか。
- 定数は10人に減らす。常任委員会は全員でもって構成すればいいのでは。
- 定数と報酬は別々に考えるのではなく、一体として考えるべきではないだろうか。
- 若い人が町議会に進出してみたいという希望が持てる議会になってもらいたい。そのためにも適正な水準の報酬であるべきではないだろうか。
- 議員報酬をいくらあげてもよいが、いくら給料を上げてもし何もなかったら無駄遣い。

総務常任委員会

■陳情審査 9月18日

・陳情第16号

「加計体育館の照明度確認を求める陳情書」

【審査結果】採択

産業建設常任委員会

■視察 9月18日

- ・県道「弁財天加計線」視察
- ・上殿定住促進賃貸住宅視察



上殿定住促進賃貸住宅
建設予定地



弁財天加計線
トンネル工事現場

地方創生調査特別委員会

■委員会開催 9月18日

- ・第2次長期総合計画（後期基本計画）、まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策評価について
- ・次期長期総合計画の策定状況について
- ・令和5年度一般社団法人地域商社あきおおた決算状況について
- ・道の駅再整備事業について

広報・広聴調査特別委員会

■意見交換会開催 8月23日

- ・地域おこし協力隊員との意見交換会
- 参加者 協力隊員5人



懇談会の様子（役場本庁 大集会室）

子ども子育て・若者支援対策特別委員会

令和6年8月2日、人口減少が本町の大きな課題となっている中、課題解消の一助となるよう、子育てと若者を支援していくための施策推進に向けた調査を実施するため、新規に設置しました。

- ・委員長 影井 伊久美
- ・副委員長 佐々木 美知夫
- ・委員 大田 齊 藤 マユミ
- ・委員 大田 厚 子
- ・委員 大江 昭 典



子ども子育て・若者支援対策特別委員会
6名の委員

編集後記

広報広聴調査特別委員会に所属し、もりみんだより（議会だより）の編集に携わって早くも4年が過ぎようとしています。

この間、もりみんだよりの編集はもちろんのこと、議会報告会の開催、各種団体等との意見交換等、今までにない取り組みを行い、委員皆で、開かれた議会を目指して活動してきました。

今後、この流れを継続し、議会と市民の間を近づけるため、努力していきます。

（小島 俊二）



◆広報・広聴調査特別委員会

- 委員長 田島 清
- 副委員長 影井伊久美
- 委員 齊藤マユミ
- 委員 小島 俊二
- 委員 大江 昭典